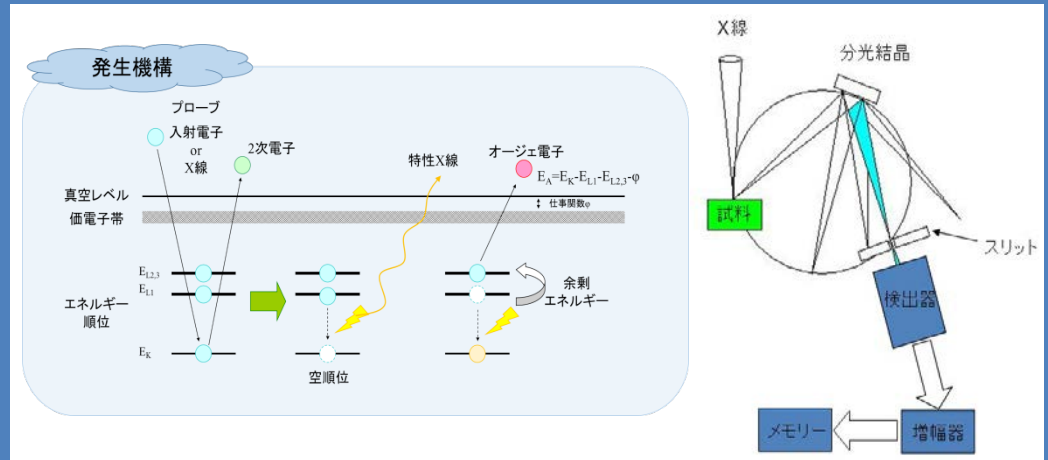


波長分散型蛍光X線分析装置



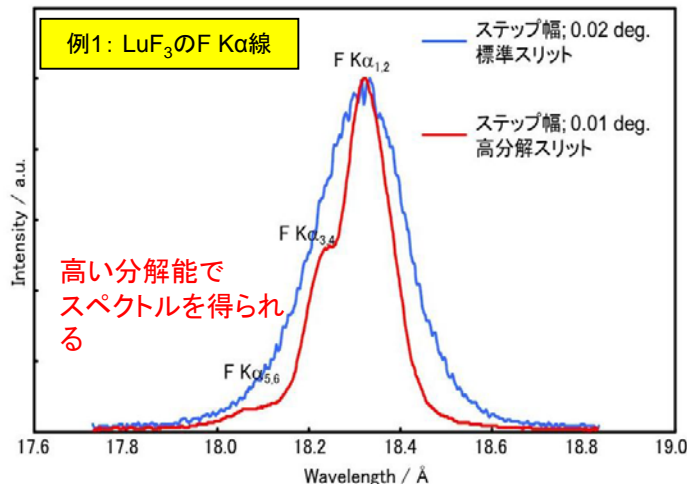
【測定原理】

X線によって、試料中原子の内殻から電子がはじき出され、空になった箇所(空順位)に外殻の電子が移動する。このとき発生する特性X線を検出することで、試料の定性・定量を行う。

【特性X線の検出機構】

試料から発生する様々な波長の特性X線を、分光結晶を用いて波長別に分離し、それぞれを検出する。

分析事例



例2: ブラウン管鉛ガラスの分析



	Concentration (wt%)
SiO ₂	47.4
PbO	24.9
Na ₂ O	5.6
BaO	1.8
Sb ₂ O ₃	0.34
SrO	2.3
Fe ₂ O ₃	0.21
CaO	3.4
K ₂ O	8.5
Al ₂ O ₃	3.6
MgO	1.9